

1. 略歴

- 1986年3月 東京大学文学部国史学科卒業
1992年3月 東京大学大学院人文科学研究科国史学専攻博士課程修了
(1995年3月 博士(文学)学位取得)
1992年4月 東京大学社会科学研究所助手
1994年4月 東京大学教養学部助教授
1996年1-10月 ドイツ、ボーフム大学 (Ruhr-Universität Bochum) 客員教授
1996年4月 東京大学大学院総合文化研究科助教授 (大学院重点化による)
1999年10月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授
2007年4月 同准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本近代史

b 研究課題

明治期の機械工業が元来の研究課題。新技術の導入が社会をどのように変えて行くのかという問題関心を中心に、明治・大正期の雑多な課題に取り組んでいる。具体的には主に軍における技術者の位置付け、近代遺跡の保存活用、関東大震災時の応急対応につき検討した。

c 主要業績

(1) 論文

「横須賀造船所初期の技術官制度」、『市史研究横須賀』、10、1-22頁、2011.3

「戦間期日本の技術将校制度」、『軍事史学』、47巻2号、4-22頁、2011.9

(2) 著書

『日本史リブレット100 科学技術政策』山川出版社 2010年6月、112頁

(3) 共編書

『新横須賀市史 資料編 近現代Ⅲ』横須賀市 2011年7月、1268頁 (担当 477~620頁)

(4) 書評

「書評 フェリエス女学院 150年史編集委員会編『フェリエス女学院 150年史資料集 第一集 関東大震災女学生の記録』、『年報首都圏史研究』1号、2011年12月、93~95頁

(5) 学会発表

2011年度政治経済学・経済史学会秋季学術大会パネル・ディスカッション「第一次大戦後の日本陸海軍軍縮と兵器関連産業・兵器生産」報告3「陸軍軍縮と兵器生産」、2011年10月22日、立命館大学びわこ・くさつキャンパス

2011年度政治経済学・経済史学会秋季学術大会共通論題「東日本大震災・原発事故からの地域経済社会の再建をめぐって」コメント2「専門家集団と「想定外」— 関東大震災と海軍の経験から」2011年10月23日、立命館大学びわこ・くさつキャンパス

3. 主な社会活動

(1) 学会

史学会 編集委員 (2009年6月~現在)、理事 (2011年6月~2012年3月)

政治経済学・経済史学会 編集委員 (2008年11月~)

日本歴史学会 理事 (2006年6月~)、評議員 (1999年6月~)

日本産業技術史学会 理事 (1996年6月~)

(2) 行政

中央防災会議専門委員 災害教訓の継承に関する専門調査会 (内閣府) 2003年7月~2011年1月

近代遺跡の調査等に関する検討会委員 (文化庁文化財部) 2002年6月~現在

(3) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

横須賀市史専門委員、群馬県世界遺産学術委員会委員、(2010年7月～)

富岡製糸場整備活用委員会委員(富岡市)

西南戦争遺跡調査検討委員会委員(熊本市・玉東町)